

第14回全国高等学校ビジネスアイデア甲子園 グランプリ受賞 愛知県立豊橋工業高等学校が新聞に掲載されました。

2015/12/25

第14回全国高等学校ビジネスアイデア甲子園グランプリ受賞した愛知県立豊橋工業高等学校が新聞に掲載されました。

東日新聞2015年（平成27年）12月11日付社会面掲載

東日新聞 2015年（平成27年）12月11日付社会面掲載

全国高校ビジネスアイデア甲子園出場

グランプリ目指す

豊橋工業電子機械科の4人 自信の2作品で挑む

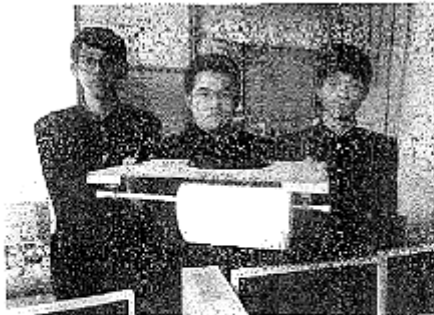
豊橋工業高校（豊橋市豊岡町）の電子機械科3年の生徒4人が考案した2作品が、全国高等学校ビジネスアイデア甲子園への出場を決めた。大会は12日に大阪府で開かれ、豊橋秀俊（グランプリ）などを決める。生徒は「1位と2位をねらいたい」と意気込んでいる。

アイデア甲子園は、高校生が新商品やサービス内容を考案して発表する。今年は全国から1475作品の応募が寄せられた。同校の2作品は最終審査の5作品に残り、12日の大会本番で発表する。

1作目の豊田泰治くん（18）と大村拓巳くん（18）は「テーアル内蔵型（紙）神ナフキン」を提案。ロール状のナフキンをテーアル天板の裏側に設置する。必要な長さだけを使用でき、交換も容易。テーアルに固定することとで、食事の際に紙ナフキンを気軽に使って汚れを防ぐことができる。

鈴木崇弘くん（17）と小泉拓海くん（17）は、衣替えを容易にする家具「四季フラインター」を発表する。ダンス内の引き出しを正方形に設計。引き出し内を4分割に区切り、向きを変えるだけで各季節の衣服を手前から取り出すことができる。

2人は母親が衣替えの際、洋服を出し入れする姿を見て正方形の家具を考案。配色を植すことでインテリアとして活用できる点もPRする。「グランプリを目指したい」と自信をのぞかせる。



アイデア甲子園に出場する生徒（豊橋工業高校で）

※この記事・写真は、東日新聞社の許諾を得て転載しています

PDF版はこちら(123KB)

ビジネス アイデア 4年連続の「甲子園」

最高賞目指す豊橋工業高生徒

暮らしに役立つ 4人2組の作品 ききよう最終審査のプレゼン



プレゼンの練習をする鈴木さんと今泉さん
豊橋工業高校で

豊橋工業高校の4人2組「ききよう」は、今年甲子園の最終審査に臨む。4年連続の甲子園出場を果たしている。



四季ファニーチャー

大阪府立大学を志す鈴木さん（左）と今泉さん（右）は、食卓やリビングの利便性に優れた「テーブル内蔵型（紙）神ナブキン」を考案。鈴木さんは「母を喜ばせたい」という思いから生まれたアイデア。今泉さんは「四季ファニーチャー」を考案。鈴木さんは「母を喜ばせたい」という思いから生まれたアイデア。今泉さんは「四季ファニーチャー」を考案。



「テーブル内蔵型（紙）神ナブキン」を紹介する大村さん一詞

「ききよう」は、正方形のタンクスは、反転することで、引出しを操作する。引出しは、紙製で、洗濯機で洗える。引出しは、紙製で、洗濯機で洗える。引出しは、紙製で、洗濯機で洗える。

※この記事・写真等は、東愛知新聞社の許諾を得て転載しています
[PDF版はこちら\(358KB\)](#)

スエーデン
ビジネス
甲斐
校
高
国
全
アイ

鈴木さんと今泉さん グランプリに輝く

豊橋工2度目の快挙

発想力とビジネス
プランを競う第14回
全国高校ビジネスア
イデア選手権(大
阪商業大学など主
催)に出場した豊橋
工業高校選手権機材

3年の鈴木崇弘さん
と今泉拓海さんが考
案した「四季ファ
ニチャー」が、同校
2度目の快挙となる
最高賞・グランプリ

3年の並庄泰彦さん
と大村拓巳さんの
「テーブル内蔵型
(紙) 神ナフキン」
は審査員特別賞に輝
いた。

4人は3年時の課
外研究として約1年
間、アイデアの考案
から商品化を見据え、
たビジネスコンセン
スの作成に取り組ん
できた。

グランプリを受賞
した「四季ファニ
チャー」は正方形の
タンスが4つに仕
切られ、反転するこ
とで衣替え可能に
したアイデア賞員。
引き出した際、同時
に2つの季節。か
ら衣服を遊ぶこと
ができるため、寒暖
の差にも対応可能
だ。

「神ナフキンの利
便性に惚れた「テー
ブル内蔵型(紙) 神
ナフキン」は、テー
ブル天板裏にロール
状に紙ナフキンを内
蔵し、従来の折り畳
みよりもコンパクト
に収納できること
が最大の強みだ。

豊橋工業高校の
3年生は、このコン
テストで、これまで
の成績を伸ばした。
結果、グランプリで
うれしい。▽並庄さん
「苦しいけど考えたア
イデアだった。最終
審査では分かりやす
く伝えることを心掛
けた。▽大村さん「最
終審査が大阪だった
ので、大阪の人が喜
びそうだな賞案を考え
た。良い経験ができ
た」

(千葉敬也)

※この記事・写真等は、東愛知新聞社の許諾を得て転載しています